

兵庫県民間病院協会会報

2024

5

令和6年 通巻639号

目次

巻頭言	（一社）兵庫県民間病院協会 理事 大村 武久	1
随筆		
外科医の区切り	（一社）兵庫県民間病院協会 理事 具 英成	3
消滅可能性自治体	（医）聖医会 佐用中央病院 事務長 有瀬 将睦	4
最近思うこと	（社医）中央会 尼崎中央病院 副院長兼看護部長 道脇 まゆみ	5
理事会報告		6
令和6年度診療報酬改定に係る疑義解釈		8
病院かわら版	（医）古橋会 揖保川病院	11
エリア情報（神戸・東阪神・西阪神・東播・西播）		13
協会だより		23
お知らせ		24
（一社）兵庫県全日本病院協会だより		27
兵庫県病院協同組合だより		33
兵庫県病院企業年金基金だより		34

（題字は齋藤兵庫県知事）

病床機能と地域医療

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(社医)甲友会 西宮協立脳神経外科病院

理事長 大村 武久



2024年度は診療報酬改定と医師の働き方改革という大きな課題を背負って始まりました。診療報酬改定では、7対1の急性期のハードルが高くなり、人件費に対しては少しのプラスがあるものの、実質は持ち出しとなり、6月からの実績がどうなるのか多くの病院では不安を抱えておられることと思います。そこに医師の働き方改革が4月から始まり、救急受け入れの多い高度急性期と急性期病院では対策に四苦八苦しているのが現状です。今回、急性期1のハードルが上がり、医師の働き方改革で実質の労働時間や人材確保が減少する可能性もあり、公立・公的及び民間病院では救急医療の縮小の可能性も危惧されます。今後、各圏域や市町など医療連携をしている地域での情報収集が一層必要になり、それぞれの地域での密な連携が求められると考えます。

地域医療構想についてですが、4月16日に兵庫県保健医療部医務課から、令和6年3月28日付け厚生労働省医務局長通知として、「2025年に向けた地域医療構想の進め方について」の資料が送付されました。

その中で、地域医療構想の現状について、「病床機能報告上の病床数は将来の病床数の必要量に近づいており、一定の進捗が認められる」と記載されています。確かに2022年の全国の病床数（一部未提出の病院がありますが）は、2015年に比べ5万床以上減少し、国が定めた2025年必要病床数に近づき、病床数では目的を達しています。しかしながら、病床区分に関しては、各医療機関の自主的な届出であり、圏域によって基準が異なっているのが現状です。大阪府では、圏域ごとの差が少ないため、高度急性期の基準を決めていますが、兵庫県にはありません。兵庫県では圏域によって地域の医療事情や人口、高齢化率が大きく異なるので難しいのではないかと思います。

兵庫県の病床数について2025年見込量は必要量の97%（ただし未届病院あり）となっています。圏域ごとでは6圏域で94～102%で、丹羽と淡路圏域でそれぞれ128%、121%と必要量を越えています。病床区分は別として、今後実際の必要病床数は医療需要に応じたものになります。圏域、市町の医療需要は、日本医師会の地域医療情報システム（JMAP）を参考にさせていただけたらと思います。

病床数はさておき、病床区分についてですが、依然として、高度急性期と急性期の区分は届出次第で地域によって異なっており曖昧です。今回の改定によって、特に中小病院では維

持することが困難な病院が少なからず出ると考えます。新たに創られた地域包括医療病棟への転換など、今後病院を維持するための方策を拓いていかなければなりません。国は高齢者救急に対応していくための設置という見解ですが、地域の救急医療体制が変わる可能性があります、これからの地域医療の把握と病院間の連携の深化を図る必要があると思います。

現在私は兵庫県病院協会の会長として運営に携わっております。兵庫県病院協会は59の公立・公的病院と131の民間病院の会員で成り立っており、協会では今年度の半ば頃には情報収集を予定しています。タスクシェア、タスクシフトなどにより、働き方改革を進めながら、満足度の高い地域医療を提供していきたいと思っておりますので、今まで以上の御協力・御指導をよろしくお願い申し上げます。



外科医の区切り

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(公財)甲南会 甲南医療センター

理事長・院長 具 英成



日本の大学外科は大半が外科医不足に直面している。外科は汚い、きつい、きびしいと言われ続け、以前の花形診療科からイメージが悪化して久しい。確かに長期におよぶ技術的な鍛錬、完璧を期してなお遭遇する想定外の合併症もあり診療ストレスは並大抵でない。処遇面でも不満が残る。しかし、外科医は誰しも限界に挑戦する比類のない魅力を知っている。優れた能力を磨き心技一体で患者、家族に喜ばれる職業人として大成したいのである。しかし必ずしも超人的、時に超能力的な外科医になれるわけではない。どの病院、大学ですらそうした傑出した外科医が数多く揃っているわけではない。要するに1教室に5人～10人規模で最高水準の外科医がいる教室など滅多にない。通常、限界に挑戦する能力の高い外科医はどの病院、大学といえども一診療科に多くて数人である。それを適材適所で配置し、簡単な手術から難易度の高い手術まで個々の適正、能力に応じて責任を分担させ、教育するのが指導者や上級医の主たる役割である。私の現役時代にも手術時間や内容を想定して臨んだが、それをはるかに超える時間、技術と忍耐が要求される事態に遭遇したことはしばしばであった。

患者、家族は難治がんなどで外科治療を選択する際はとりわけ責任感が強く、技術の高い、願わくば心豊かで決して安易に諦めない外科医を求めているのではなかろうか。それはいつの時代も変わらない。AIやDX、ロボットがいくら進歩しても外科医の能力と無縁になるとは到底思えない。難しい手術を途中で自分に都合の良い理由をつけて簡単に投げ出し、能力不足を説明で補完する外科医に誰が手術されたいだろうか。そこでは技術練磨と責任感に支えられた best performance が願いであろう。一旦始めた難手術は時間に縛られて止めるわけにはいかないのである。勿論、能力と限界を考えながら撤退を余儀なくされることもある。長くなれば交代勤務を考慮するのは当然であるが、個人の責任感と持久力が要求される局面は手術にはつきものである。長年、外科を天職にしてきた医師として一抹の寂しさを感じるが、レジリエンスや忍耐に翳りが出る2年前に手術に区切りをつけた。以来、患者、家族の皆様に最善の選択は何か、どこでそれが実現可能か施設や担当医を見極めて総合的に助言するのが私に信頼を寄せる方々への答礼と考えている。

消滅可能性自治体

(医)聖医会 佐用中央病院

事務長 有瀬 将睦



令和6年4月に民間の研究機関「人口戦略会議」が公表した分析結果において、「消滅可能性自治体」に該当する市町村は全国で744にのぼるとのことです。消滅と言いましても実際に消えてなくなるということではなく、2050年までに若年女性人口が半数以下になる自治体のことを指しているようです。しかしこのままではさらに数十年後には、実際に消滅する市町村も出てくるでしょう。この「消滅可能性自治体」という表現は危機感を感じさせるとともにインパクトもありますので、中には文言の見直しを求めたり、対策についてコメントしている自治体もありました。

当院がある佐用町も「消滅可能性自治体」に該当するとの結果でした。佐用町の高齢化率は45.1%と兵庫県内で堂々の1位ですので特に驚くことはありませんでした。実際、佐用町の人口はこの20年で約6,000人減少しています。病院運営に関して言いますと周辺地域の生産人口が減少することにより人材不足を招きます。当院の職員も以前に比べると町外から通勤する職員の割合が増えています。

明治時代に遡ると日本の人口はわずか3,000万人ほどでしたが、そこから高度経済成長とともに急激に人口が増加し100年ほどで一気に1億人を突破します。しかし現在は急激に減少に転じています。東京以外のすべての自治体で減少しているのですから、佐用町の人口減だけを嘆いても仕方なく国全体で考える必要がある

かと思います。果たして我が国の人口はどれくらいが最適で高齢化率はどれくらいが最適なのでしょう。

私が若い頃、近所のおじいちゃんやおばあちゃんは「結婚式当日まで相手のことを知らなかった」と話していました。それぐらい結婚に自由度はないけれども、「皆婚社会」とも言える戦後日本の結婚率の高さと出生率の高さによって人口増加が後押しされたと考えられます。

現在の日本では、ライフスタイルの多様化により晩婚化・非婚化が進み、昔に比べると結婚や出産に対する考え方の自由度が広がっている半面、出生率も下がり少子高齢化が進んでいるように思います。そう考えると、自分達自身で人口減少を進めているとも言えます。

人口の減少については、もう抑えは効かないところまで来ているのではないかと考えています。大切なのはその状況に応じて国も自治体も人も、そして病院もそのあり方を考えることではないかと思います。人口が減少すれば自治体は合併して機能を集約する必要があるでしょう。子供の数が減少すれば学校は統合して教育に最適な環境を整える必要があります。医療機関や介護施設も人口の減少や高齢化に合わせて、その規模や機能を変えていく必要があるでしょう。

人口減少や少子高齢化を嘆くばかりではなく、その時代に合った社会のあり方を考え、その時代に生きる人達の幸せを願うことのできる世の中になって欲しいと思います。

最近思うこと

(社医)中央会 尼崎中央病院

副院長兼看護部長 道脇 まゆみ

生産人口が減少する昨今、在籍職員を如何に大切にするかを考える。業務内容を可視化し、効率化を図ることが重要である。しかし一方で、「コミュニケーション」が最も重要ではないだろうか。

年々、コミュニケーション能力が低下していると感じることがしばしばある。友達との会話、両親との会話、学校教員との会話、どれも不十分に感じる。昔に比べ現代では、便利な会話ツールが普及しており、直接会わなくともメールやLINEなどを用いて、相手の表情や気持ちに深く考え及ぶことなく、自分の用件を簡単に伝えてしまうことができる。昭和生まれの私にとっては、なんと虚しいことだろうと感じている。

「私達の時代は〇〇〇であった」とあまり言うてはいけないが、先輩や上司、医師からお叱りを受けて育った私は、仕事に対する責任感や、貪欲な探求心が自然と沸いたものだ。そして、管理職を30数年務める中で、「人を大事にすること」を培ってきた。役職が上になろうとも、「いつもあなたの隣にいるよ」「いつでも話しに来て」「いつでも会いに来て」と、常に職員に伝えている。

これまでの人生を振り返ってみると大変なこともあったが、私に関わった全ての人達にありがとうと感謝を伝えたい。そして、もう少し私と付き合ってもらいたいものだ！



令和6年度 第1回

理事会議事録(速報)

I 日 時 令和6年4月18日(木)
15:00～15:45

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数20名 出席理事14名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：西昂(会長)、高橋玲比古(副会長)、
橋本創(副会長)、森光樹(副会長)、
豊岡豊、大村武久、那須範満、
大江与喜子、藤久和、具英成、
宮地千尋、吉田寛、大西尚、江尻一成
監 事：北川透、稲見直邦
オブザーバー：寺岡由佳里(看護部長会 会長)

なお、高橋玲比古、橋本創、森光樹、大村武久、
那須範満、藤久和、宮地千尋、吉田寛、大西尚、
江尻一成はWeb会議システムにより出席した。

IV 会議の成立

理事14名が出席し、定款第34条に規定する
定足数を満たしており、本理事会が成立した
旨確認された。

V 議 長

西昂会長が、定款第33条の規定により議長
となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 後援名義の使用承認について

西会長より、昨年に引き続き以下の行
事の後援を承認することについて諮った
ところ、全員一致をもって可決した。

・依頼者 メディカルジャパン事務局
事務局長 矢島 大地

・行事名 第11回メディカルジャパン
(医療・介護・薬局Week大阪)

・会 期 2025年3月5日(水)～7日(金)

・会 場 インテックス大阪

(2) 講演会及び懇親会の参加費等の見直し について(共通事項)

橋本事務局長から、資料に基づき、諸
物価高騰により協会財政が厳しさを増す
中、講演会、懇親会にかかる経費も増嵩
しているため、講演会及び懇親会参加費、
懇親会招待者の見直し案の説明があっ
た。6月開催の総会、特別講演会、懇親
会の参加費は、講演会が会員5,000円、
非会員3,000円、懇親会は会員、非会員
ともに15,000円とし、招待者はなしとす
ること、また12月開催の年末講演会、
懇親会についても、参加費は6月開催の
特別講演会、懇親会と同額とし、招待者
については、今後検討するとの案が示さ
れ、協議の結果、全員一致をもって可決
された。

また、来年度の総会の開催場所、懇親会の実施の有無等については、アンケートを実施し、その結果も踏まえ今後検討することとなった。

2 報告事項

(1) 3団体事務の取扱い（党書締結）と委託の内訳について（共通事項）

橋本事務局長から、3月理事会の決定に基づき、同日付で3団体事務の取扱いに関する覚書を締結したことが報告された。また、整理した委託金額の内訳が説明された。

(2) 神戸圏域医療介護連携システムの利用状況について

橋本事務局長から、利用状況は長期的に下降傾向にあること、令和4年度はシステム改修を行ったこともあり前年度に比べ増加したが、令和5年度はほぼ令和3年度並みとなったことが報告された。

(3) 会員の変更について

西会長から、以下のとおり会員の変更が報告された。

(敬称・法人名称略)

支部名	神戸	
病院名	神戸大山病院	
新会員名	役職	院長
	氏名	ふくだ いくお 福田 幾夫
旧会員名	役職	院長
	氏名	さこ たつお 佐古 辰夫
変更年月日	R6.4.1	

(4) 神戸圏域医療介護連携システムの退会について

西会長から、以下のとおり退会が報告された。

(敬称・法人名称略)

施設名	介護老人保健施設 いつでも夢を
代表者	理事長 渡邊 奈津子
所在地	神戸市中央区下山路通7-17-1
退会日	R6.4.1

退会後の加入機関

72病院 36老人保健施設 8医療介護SC

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了した。



令和6年度診療報酬改定に係る疑義解釈

厚生労働省保険局医療課で取りまとめられた「令和6年度診療報酬改定に係る疑義解釈」を兵庫県民間病院協会HP上に掲載していますので、お知らせします。

「トップページ」➡「会員専用ページ※」➡「診療報酬改定情報」をクリックすると表示されます。

※ログインにはパスワードが必要です。

(1) 令和6年度改定疑義解釈資料の送付について（その2）

〈令和6年4月12日付〉

① 医科診療報酬点数表関係

【届出関係】

【医療DX推進体制整備加算】

【外来感染対策向上加算、感染対策向上加算】

【外来感染対策向上加算】

【発熱患者等対応加算】

【医療情報取得加算】

【救急医療管理加算】

【療養病棟入院基本料】

【リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算、リハビリテーション・栄養・口腔連携加算】

【特定集中治療室遠隔支援加算】

【総合周産期特定集中治療室管理料】

【慢性腎臓病透析予防指導管理料】

【がん薬物療法体制充実加算】

【栄養情報連携料】

【緊急往診加算、夜間・休日往診加算、深夜往診加算】

【急性期リハビリテーション加算】

【通院・在宅精神療法】

② 看護職員処遇改善評価料及びベースアップ評価料関係

【看護職員処遇改善評価料、ベースアップ評価料】

③ 歯科診療報酬点数表関係

【施行時期後ろ倒し】

【届出関係】

【医療DX推進体制整備加算】

- 【医療情報取得加算】
- 【クラウン・ブリッジ維持管理料】
- 【ポンティック】
- 【歯科衛生実地指導料】
- 【口腔内装置調整・修理】
- 【回復期等口腔機能管理料】

④調剤報酬点数表関係

- 【届出関係】
- 【地域支援体制加算、連携強化加算及び在宅薬学総合体制加算】
- 【医療DX推進体制整備加算】
- 【かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料】

⑤訪問看護療養費関係

- 【訪問看護管理療養費】

(2) 令和6年度改定疑義解釈資料の送付について（その3）

〈令和6年4月26日付〉

①医科診療報酬点数表関係

- 【施行時期後ろ倒し】
- 【抗菌薬適正使用体制加算】
- 【時間外対応加算】
- 【地域包括診療加算、地域包括診療料、生活習慣病管理料（Ⅰ）、生活習慣病管理料（Ⅱ）】
- 【一般病棟入院基本料】
- 【療養病棟入院基本料】
- 【看護補助体制充実加算】
- 【精神科入退院支援加算】
- 【特定集中治療室管理料】
- 【地域包括医療病棟】
- 【小児入院医療管理料】
- 【在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院】
- 【救急患者連携搬送料】
- 【在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料】
- 【SARS-CoV-2核酸検出】
- 【ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影】
- 【通院・在宅精神療法】
- 【慢性膿皮症手術】
- 【先進医療】

- ②看護職員処遇改善評価料及びベースアップ評価料関係
【ベースアップ評価料】
- ③医科診療報酬点数表関係（不妊治療）
【採取精子調整管理料】
- ④歯科診療報酬点数表関係
【施行時期後ろ倒し】
【歯科外来診療医療安全対策加算】
【総合医療管理加算、歯周病ハイリスク患者加算】
【口腔内装置】
【機械的歯面清掃処置】
【フッ化物歯面塗布処置】
【光学印象】
【接着カンチレバー装置】
【有床義歯修理】
【歯科矯正相談料】
【口腔リンパ管腫局所注入、中心静脈注射用植込型カテーテル設置】
【情報通信機器を用いた歯科診療】
- ⑤調剤報酬点数表関係
【調剤基本料】
【地域支援体制加算、連携強化加算及び在宅薬学総合体制加算】





医療法人古橋会
揖保川病院



認知症疾患
医療センター室長
仲村 純

認知症疾患医療センター 紹介

当院は「患者さまのために、ご家族のために、そして社会のために人間愛に基づく医療の提供」を基本理念とし、昭和38年10月に開設し今年で61年目を迎えます。診療科目は精神科、脳神経内科、

専門外来（物忘れ外来・児童思春期外来）で、330の病床を抱え、介護老人保健施設・精神科デイケア・訪問看護ステーション・特別養護老人ホーム等の併設・関連施設を有しています。小児から認知症高齢者までの全世代を対象に西播磨の精神科医療、福祉、介護の中核を担い、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

令和元年10月には、地域における認知症の拠点として、県から指定を受け「認知症疾患医療センター」（以下センター）を開設。当センターの取り組みを紹介させていただきます。

コロナの影響のため対外的な活動が制限されていましたが、令和5年度より地域の関連機関との連携強化のため様々な所を訪問しています。精神科病院に対するイメージを払拭していくところからはじまるケースもありますが「相談窓口がわかり、よかった」との声があるとともに、地域の高齢者に「認知症の正しい知識をもってほしい」「治療薬について話してほしい」等の意見もあり、研修会の開催や啓蒙活動も実施することとなりました。その中で、いきいき百歳体操の場面や地域の研修会などで講演する機会をいただいています。



病院外観

また、開設当初から「認知症家族会」を、センター長、認知症認定看護師、公認心理師、作業療法士、社会福祉士等で運営しています。家族会は2部構成で、第1部は、認知症専門医、院内のスタッフや外部講師による講義を実施しています。参加者は家族・当事者・専門職の方を対象とし、講義のテーマは参加者からの声や最新の話題なども参考に決定しています。テーマの例としては、「認知症の方への接し方」「認知症のお薬の話」など認知症ケアに役立つ内容となっております。参加人数も増加しています。

第2部では、家族と当事者の方のみの参加とし、当事者の方は公認心理師による回想法を実施。家族はセンター長や認知症認定看護師などがグループの進行役を担い、自己紹介や近況報告、良かったことや悩みなどを話し合ってもら

っています。参加者の中には介護経験の豊かな方もおられ、参加者間で情報提供やアドバイスを
する場面も見受けられます。参加者からは、「話をしたり聞いたりすることで、みんな同じように悩み経験していることがわかり、自分一人がしんどく辛い思いをしているのではないと思った」また、「当事者と離れて過ごす時間がもてることでリフレッシュできている」などの声が
多く聞かれます。

認知機能が低下してからも、本人の力を活かして自分らしい暮らしを続けるため早期から適切な支援につながるように、引き続き地域との連携を強化しセンターの周知活動とともに皆さんの声を聞き、啓蒙活動に努めていきたいと考えています。



認知症疾患医療センター平田尚士センター長（左から2人目）とスタッフ

神戸

(公社) 神戸市民間病院協会
令和6年4月度 第10回理事会

日 時 令和6年4月25日(木)
15:00～15:50
場 所 神戸看護専門学校 8階講堂

理事総数15名 出席理事数12名
監事総数2名 出席監事数1名

出席役員

代表理事 (会長) 西昂 (議事録作成者)
理 事 高橋玲比古、吉田寛、宮地千尋、
金守良、公文敦、稲見直邦、
吉田泰久、中井正信、笹野哲郎、
大西安代、矢内隆夫

監 事 古瀬繁

出席参与・参事

参 与 山本正之、藤久和、具英成
参 事 横内幸男、阿児良典、谷口美幸、
岩城一男、岸本由美

上記のとおり出席があったので定款第33条の規定により会長 西 昂が議長となり、開会を宣し議事に入った。

報告事項1 令和6年3月度管理部門並びに看護専門学校の収支報告

議長の指名により事務局長から、3月度管理部門並びに神戸看護専門学校収支について報告を行った。

報告事項2 学校報告

議長の指名により大西学校長から下記の報告を行った。

①令和6年度入学式

令和6年4月3日(水) 22期生71名が入学
10時～8階講堂にて来賓、関係者、家族の列席のもと挙行

②学生の状況

1年生：入学生 22期生71名
(女子59名、男子12名)
内1名が4月1日～令和7年3月
31日休学(家庭の事情)
現役生：56.3% (40名)
社会人経験者：43.7% (31名)
平均年齢：23.4歳(昨年22.1歳)

4月3日

入学式終了後に保護者説明会開催
(36名参加)

4月4日～10日 入学ガイダンス

4月11日 学外研修(人間関係構築・協調性育成のための研修)

4月23日～26日 看護を考える実習

2年生：在籍者数79名(内、男子12名)

3年生：在籍者数62名(内、男子6名)

5月7日～7月25日 専門分野実習

学生在籍者総数：212名

③第113回看護師国家試験結果

受験者：68名 合格者：61名

() は昨年結果

合格率：

本校89.7% (98.4%)

全国新卒者93.2% (95.5%)

全国87.8% (90.8%)

今後の国家試験合格率向上を目指し、1年次からの学習支援対策を強化予定

④就職説明会

4月10日(水) 13:30～

兵庫県中央労働センターにて各会員病院の説明会を開催

29施設参加

エ リ ア 情 報

2部制（1年生対象、2・3年生対象）で実施

学生参加：約180名

アンケート結果：

満足したという結果が多かった

⑤職員人事に関する事項

4月1日～新) 事務部長 就任

新) 実習調整者 就任

精神看護学専任教員1名 入職

職員：教員18名（育休中1名含む）

事務職 8名

職員総数26名

報告事項3 事務長部会・看護部長部会令和5年度収支報告

議長の指名により事務局長から、令和5年度の事務長部会・看護部長部会の収支報告を行った。

報告事項4 兵庫県への「令和6年度事業計画・収支予算」の提出

議長の指名により事務局長から、3月14日の理事会での承認を受けて、兵庫県に「令和6年度事業計画・収支予算」を提出（令和6年3月28日）した旨を報告した。

議題1 令和5年度事業報告及び決算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の承認の件

議長の指名により事務局長から、公益社団法人神戸市民間病院協会の令和5年度事業報告及び計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の内容について、資料を基に説明した。

議長はこの説明を議場に諮った結果、満場一致で本件を原案通り承認し可決確定した。

議題2 理事・監事・参与選任の件

議長の指名により事務局長から、現任理事・監事の任期が5月の総会時で満了となるため、5月の定時総会において役員の変更が必要であり、次期理事・監事の候補者及び参

与（理事会の承認事項）の候補者は、総会資料の名簿に記載したとおりであることを説明した上で、5月30日の定時総会に提出することの承認を求めた。

議長はこの説明を議場に諮った結果、満場一致で本件を原案通り承認し可決確定した。

議題3 定時社員総会招集の件

議長の指名により事務局長から、定時総会招集通知により、第12期定時総会を5月30日（木）午後3時からホテルオークラ神戸にて開催すること、当日の資料は添付のとおりであること、懇親会の参加費を振込みとすること等を説明した。

議長はこの説明を議場に諮った結果、満場一致で本件を原案通り承認し可決確定した。

議題4 定時総会后「合同懇親会」招待者の確認

議長の指名により事務局長から、定時総会后の「合同懇親会」招待者について、資料の名簿を基に説明した。

議長は上記内容を議場に諮った結果、満場一致で本件を承認し可決確定した。

議題5 神戸市医師会との懇談会について（報告）

議長の指名により事務局長から、3月21日に開催された神戸市医師会との懇談会について、自民党神戸市会議員団への要望、医師の働き方改革等意見交換の内容について報告を行った。

議題6 後援名義の使用承認について

議長の指名により事務局長から、「COVID-19WEBセミナー in 神戸」の概要について説明。議長が後援名義の使用を許可することについて諮り、理事全員に了承された。

議題7 その他

・高橋理事（副会長）より、当協会が後援した「スレンダークラブジャパン学術集会」

エ リ ア 情 報

(4月5～7日、ANAクラウンプラザホテル)について開催報告がなされた。

- ・事務局長から、理事会の開催方法としてWEB会議の検討を提案。議長はWEB会議を1年程度かけて検討することについて諮り、理事全員に了承された。
- ・事務局長から、神戸看護専門学校において広報PRポスターを作成中であり、会員病院への掲示協力をお願いしていく旨の報告があった。

・6月理事会

令和6年6月13日(木) 15:00～16:00

・定時総会

神戸市民間病院協会

5月30日(木) 15:00

神戸市第二次救急病院協議会

5月30日(木) 16:00

ホテルオークラ神戸「曙」の間

(一社)神戸市第二次救急病院協議会 第11回理事会議事録

日 時 令和6年4月25日(木)
15:50～17:10

場 所 神戸看護専門学校 8階 講堂

出席役員 理事10名 監事2名 実行委員7名
議 長 高橋玲比古会長

議 題

1 神戸市健康局・消防局令和6年度幹部職員挨拶について

神戸市健康局・消防局より令和6年度組織編成に伴い、神戸市民間病院協会及び神戸市第二次救急病院協議会に花田健康局長以下多数の幹部職員が来訪され、新年度挨拶があり新任の方々の紹介もあった。引き続き花田健

康局長より神戸市としての令和6年度の方針を二点挙げられ、一点目は、医療提供体制に課題のある地域、病院に焦点を絞り、医療安全面も含めて医療提供体制を整えていくこと、二点目は、震災後30年を迎える阪神淡路大震災、今年年始の能登半島地震を踏まえた災害医療への取り組みとして、災害時の人員の受入体制の整備、又、災害を想定した実地訓練を計画したいと述べられた。最後に、このような方針も含め、今年度も更に民間病院協会、二次救急協議会に密なる連携協力を依頼をされ、市民の命と健康を守りたいと締め括った。

2 GW期間の救急安心センターの対応について (神戸市健康局)

神戸市健康局地域医療課の川村係長から、例年ご協力頂いているGW期間中における救急安心センター事業での医療機関案内について依頼があり、GW期間中は輪番当番担当病院に加え、Mefis上で積極受入(赤字表示)を表示している医療機関にも、患者紹介案内を実施したいとした。これを受け、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

3 神戸市消防局の新救急システムとMefis新システムとの連携について

神戸市消防局が、現在取り組んでいる新救急システム「消防局DX」について担当者から概略説明があった。このシステムは二次救急協議会が、現在検討し始めているMefisシステム改修事業と多角的にリンクする箇所が予測される為、互いに連携を取りながらシステム開発を行う事が必要になるとし、今後は連絡調整会議を設けて情報交換をする事で意見統一した。

4 令和6年度事業計画について

高橋会長より令和6年度事業計画の説明が

あった。それによると、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行され救急医療体制は従来の姿に舵を切ることになったが、依然としてコロナウイルス感染の収束には至っていない。今後も、コロナとともに日常診療を余儀なくされることが予想される。神戸市での救急出動件数は、コロナ蔓延の影響で減少していたが令和3年より増加に転じ、令和5年も増加した。具体的には、対前年比では救急患者総数は約4.6%、救急搬送患者数も約7.4%の上昇となった。このような厳しい情勢下で神戸市第二次救急病院協議会は、令和6年度の活動を更に発展させ、神戸市の救急医療に貢献するべく、次のように令和6年度の活動方針を掲げると報告した。

(概略として)

1. 二次救急機能の強化
 2. 医師の働き方改革への対応
 3. 終末期救急医療への取り組み
 4. 在宅重症身障児者救急への協力
 5. 救急患者の適正な搬送業務への協力
 6. Mefisの利用促進と救急車モニターの機能強化
 7. 大災害への対応…「災害対応マニュアル」の整備と改善
 8. 神戸市第二次救急病院協議会の公益性についての周知
 9. 初期救急・三次医療機関との連携強化以上、高橋会長の簡潔な説明の後、理事会に諮ったところ異議なく承認された。
- 5 令和5年度事業報告・決算報告について
- 釜戸事務局長より令和5年度当協議会事業報告・決算報告の説明があった。それによると、事業報告については例年通り、会議開催実績回数、救急患者実績の経年比較、及び会員数異動状況（令和5年度は1病院退会で45病院）の説明があった。令和5年度はコロナ

陽性患者救急搬送に係る緊急合同対策会議が追加開催された。次に、令和5年度の決算報告については昨年計上していた予算額と比較した説明があり、まず、収入の部では概ね予算額との誤差は想定されたもので、一部の運営補助金項目は予算時想定した予測額より3月末での実績が増額となった。又、システム改修準備金は今年度は、システム改修が実施されなかった為、未計上となり減額となった。但し、これらの項目についての増減額は、支出の部でも同様の増減額を計上しており収支に影響はないとした。次に支出の部では先ず事業費では前述のシステム改修費は未実施で減額となっており、他に総会・交歓会関連での増額と専門学術部会等の減額で、概ね費用増減が同額でバランスが取れているとした。又、役員運営費では会議開催回数や出席役員数の実績から想定予算額より減額となった。更に労務費では事務局長の入院療養中の臨時採用職員の人件費が増額となったとし、その他の一般経費は、概ね少額ながら減額の決算額となったとした。そしてこれらの経緯により最終的に令和5年度の決算結果は、予算書での当期収支差損額△90万円から40万円改善された△50万円の収支差損となったと報告した。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。よって、この決算報告書を定時総会に議案提出する事となった。

- 6 第45回定時総会の次第内容について

高橋会長より本年度の定時総会の次第内容について役員役割分担の協力依頼があり、理事会にて慎重に審議され、適時適任の役割分担が確認された。

- 7 神戸徳洲会病院の二次救急輪番辞退について

高橋会長より、神戸徳洲会病院の二次救急

協議会での輪番復帰時期について審議したいと理事会に提案された。現在は4月まで輪番辞退届（5月まで輪番辞退の意向連絡有り）が提出されているが、神戸市健康局としての当該病院への改善措置命令では、8月末まで「病院としての改善措置」を実施するとしている事を考慮すると、二次救急輪番復帰の時期も慎重に検討する必要があるとした。そこで理事会にて十分な意見交換、審議を行った結果、神戸市の行政指導期間に同調する事で決議された。よって神戸徳洲会病院の二次救急輪番復帰は9月以降となる事になり、後日、事務局より当該病院事務長にその旨を連絡するとした。

8 医師の働き方改革の救急影響度調査結果について

高橋会長より今回の「医師の働き方改革」の実施で二次救急会員病院の救急医療体制に及ぼす影響度を調査したいとして、急遽にアンケート調査を実施したと報告しその集計結果を公表した。この調査実施の趣旨は、現状の二次救急輪番体制の維持確保が近年徐々に会員病院数も含めて困難になって来ているところに今回の改革が加わり更に厳しい状況になる事を懸念して実施したと説明した。その結果として、全会員病院45病院から回答があり、個々の会員病院では少なからず救急医療体制に影響があり、その医療体制維持の対策を実施している事が明らかになった。然しながら、当協議会の二次救急輪番体制への当番担当実績義務をクリア出来ると回答した会員病院（何とかクリア出来るを含む）は44病院あり、1病院のみクリア出来ない可能性があるとの回答であった。高橋会長はこの集計結果を受け、当面の間は、当協議会の二次救急輪番体制は維持可能と安堵したが、今後の状況は変わらず厳しいと考えられるので、引き

続き状況を注視して輪番体制維持に努力したいとし理事会に協力依頼し同意を得た。

9 令和6年度神戸マラソンメディカル協議会委員の推薦について

釜戸事務局長より、神戸マラソン事務局から令和6年度の標記委員の推薦依頼が届いており理事会にて審議して頂きたいとした。そこで理事会にて審議した結果、前年度も委員担当して頂いていた吉田泰久理事に引き続き依頼する事で意見が一致し、吉田泰久理事の同意も得た。後日、当事務局よりマラソン事務局へ推薦書を提出する事となった。

10 令和5年度罰則明細について

釜戸事務局長より令和5年度のMefis当番入力による罰則該当病院、及び罰則金額が確定しその結果報告があった。罰則金は1年間を通じて6病院で合計19,500円であった。これを受けて高橋会長が理事会に諮ったところ意義なく承認された。近日に事務局より該当病院に通知する事になった。尚、罰則金は補助金配分時に該当病院から差し引かれる事になるとした。

11 二次救急輪番制当番引受必須義務達成について（令和6年1月～3月）

釜戸事務局長より定款に則り標記状況について結果報告があった。それによると、神戸徳洲会病院を除く44病院が当番引受必須義務単位数（17.5単位）は無事にクリアされているとの事であった。これを受け、高橋会長が理事会に諮ったところ意義なく承認された。

エ リ ア 情 報

東阪神

事務長会役員会 議事録

日 時 令和6年4月11日(木) 16:00～
場 所 尼崎市中小企業センター
出 席 西宮、宮宗、伊藤、前田、植木、野崎、
榊、堀、鈴木、辻井、井上、廣、畑林、
石橋 計14名

議 題

- 1 定期総会事前打ち合わせ
令和5年度事業の振り返り及び収支決算の
確認と令和6年度事業についての事前打ち合
わせがなされた。

次回開催予定日

日時：令和6年4月19日(金) 16:00～
場所：尼崎中小企業センター

事務長会定期総会 議事録

日 時 令和6年4月19日(金) 15:00～
場 所 尼崎市中小企業センター
出 席 西宮、宮宗、伊藤、前田、植木、井内、
徳岡、野崎、河上、榊、畑林、堀、岡田、
鈴木、辻井、山本、井上、倉富、辻脇、
浦野、向井、廣、野村、東、石橋 計25名

議案審議

- 第一号議案 令和5年度事業報告
第二号議案 令和5年度収支決算報告・監査報告
第三号議案 令和6年度事業計画(案)
第四号議案 令和6年度会計予算(案)

第五号議案 令和6年度役員変更(案)

以上審議内容は全て全員一致をもって承認さ
れた。

その他

- ・5月18日(土) 14:00から東阪神支部の診療報
酬説明会を開催予定。現在参加者を募ってい
るが、会場収容人数に限りがあり各病院での
人数調整を依頼。
- ・診療報酬改定の情報交換がなされた。

次回開催予定日

日時：令和6年5月17日(金) 15:00～
場所：尼崎中小企業センター

西阪神

2024年度 事務長研修会 議事録

開催日時 令和6年4月18日(木)
16:10～16:40

開催場所 西宮市医師会 会議室

出席者 33名のうち22名出席

議 長 野原会長

書 記 榎本会報編集委員

議 案

- 1 コロナ関連の患者負担の扱い
(宝塚病院 山下事務長)
 - ・コロナ関連の患者負担の取り扱いについて、
各医療機関がどのようにしているか確認した
い。例えば、ある病室で陽性者が発生し、そ
の後、同室者で陽性者が出た場合、その同
室者の治療費はどのように取り扱っているか。
※事務長研修会に参加していた医療機関の

エ リ ア 情 報

全てが「感染経路など特定が難しいため、原則、そのまま患者負担としている」と回答。ケースによっては、患者より申し出がある可能性はあるが、その場合は、都度対応としているとのこと。

2 コロナの動向について（野原会長）

- ・西宮協立リハビリテーション病院（下林副会長）：この数週間で患者、職員併せて24名出た。1病棟は完全に閉鎖状態。今日現在はやっと落ち着いてきて5名ほど。感染ルートは不明。
- ・北摂中央病院（的場事務長）：3月下旬～4月上旬にかけて15名ほど出た。感染ルートはおそらく職員と思われる。
- ・谷向病院（野原会長）：他院からのコロナ転院要請がチラホラ出ている状態。コロナではないが、結核病床が満床状態。
→世の中の的には、もう完全にコロナの意識はないが、感染力が強いのは変わっていない。お互い気をつけて病院運営を続けていきましょう。（野原会長）

3 兵庫県民間病院協会からの原稿執筆依頼について（野原会長）

- ・紙上シンポジウムの原稿執筆依頼があった。テーマは雇用と人材育成。令和6年7月号に掲載予定で、A4で2～4ページ分くらいの文字数。
→今回は「谷向病院」が担当する。また別の原稿依頼があった時には、各医療機関にご協力いただきたい。（野原会長）
→承認する。（全員）

4 新会員～初参加者からの挨拶

- ・こだま病院 古川 事務長
- ・宝塚磯病院 森内 事務長
- ・めいわりハビリテーション病院 杉 事務長 代理
- ・宝塚リハビリテーション病院 二宮事務長

次回の事務長研修会の予定

- ・日時：令和6年5月16日(木) 15：30～
- ・場所：谷向病院（予定）

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染動向により、変更や中止の場合がある。

2024年度 事務長会総会 議事録

開催日時 令和6年4月18日(木)
15：30～16：10

開催場所 西宮市医師会 会議室

出席者 33名のうち22名出席

議長 野原会長

書記 榎本会報編集委員

議 案

開会宣言（野原会長）

野原会長より、全33病院のうち22病院の出席があり、事務長会会則第7条第3項および第8条により、本総会の成立と議決の有効が宣言された。

1 2023年度 事業報告（下林副会長）

- ①2023年度 事業報告について、資料に沿って説明。
- ②2023年度 研修会報告について、資料に沿って説明。

2 2023年度 決算報告及び監査報告（的場会計）

- ①2023年度 決算報告書について、資料に沿って説明。
- ②2023年度 会計監査報告書について、資料に沿って説明。

→2023年度の会計監査役であった「こだま病院 竹瀬事務長」の退職に伴い、元会計監査役であった「布谷整形外科病院 荒木氏」に監査のお願いをした。（的場会計）

エ リ ア 情 報

3 2024年度 事業計画案の承認 (野原会長)

- ①2024年度 事業計画案について、資料に沿って説明
- ②2024年度 事務長会 会員名簿について、資料に沿って説明
- ③2024年度 事務長会 役員名簿について、資料に沿って説明
 - 会員名簿および役員名簿について、変更があれば、会長 野原までメールで連絡して欲しい。(野原会長)
 - 各委員会の委員構成も変更している。それぞれのメンバー間でコミュニケーションを取りながら担当業務をお願いしたい。(下林副会長)
 - ①～③ともに承認する。(全員)

4 2024年度 予算案の承認 (的場会計)

- ・2024年度 予算案について、資料に沿って説明
 - 2024年度の会費 (24,000円/1施設) も徴収する。別途、会費についてメール配信するので、指定期間内での振り込みをお願いしたい。(的場会計)
 - 承認する。(全員)

5 その他

- ①事業計画に関するアンケート結果 (野原会長)
 - 今後の事務長会の開催時期や開催場所についてアンケートを実施。総論としては、現状のままでよいとの声が多かった。開催場所として、年に数回は三田方面の会場もあったほうはよいのではというコメントもあった。(野原会長)
 - 過去、数回、三田方面での開催もあったが、参加者が極端に少なくなってしまい、結果的に今の形に落ち着いている経緯もある。(下林副会長)
 - 三田方面の医療機関には申し訳ないが、西宮近辺での開催で当面は実施してい

く。(野原会長)

- ②西阪神民間病院協会 (随筆・かわら版) 原稿依頼者名簿
 - 「めいわりハビリテーション病院」が新たに会員として加わった。2024年12月の病院かわら版の担当：明和病院をめいわりハビリテーション病院に変更してはどうか。(下林副会長)
 - 明和病院としては、めいわりハビリテーション病院の紹介もしたいので変更はありがたい。(明和病院 池崎事務長)
 - 承認する。(全員)
 - ※2024年12月の病院かわら版の担当：明和病院 → めいわりハビリテーション病院に変更

東 播

第605回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和6年4月9日(火)
16:30～17:00

場 所 ホテルキャッスルプラザ 西明石

出席者 黒川、永田、山田、船木、田中、西井、吉岡、藤井、村上

協議事項

- 1 令和6年度の事業について
 - ・4月18日開催の東播民間病院協会の合同総会の当日の流れや役割分担などの確認を行った。役員は当日の受付担当のためホテルの会場に16時30分の集合とする。
 - ・当日に令和6年10月26日(土)に開催する事務長会・看護部長会合同研修会の開催について、アナウンスを行う。

エ リ ア 情 報

・近畿病院団体連合会が7月30日(火)に京都の都ホテルで開催されることが確認された。

2 医療情報交換 等

- ・クレジットカードの手数料について各施設の割合の情報交換を行った。
- ・コロナワクチンを保存していたフリーザーについて、市役所に確認したところ、廃棄が難しい場合は市での引き取りや各施設での売却処分も可能との見解があった。

次回開催予定

日時：2024年5月14日(火) 16：30～
場所：ホテルキャッスルプラザ西明石

西 播

令和6年度 第1回 理事役員会

日 時 令和6年4月20日(土) 13：00～
場 所 姫路キャッスルホテル 2階さぎ草

議 題

- 1 兵庫県民間病院協会 理事会からの報告
 - (1) 令和6年度講演会・懇親会の参加費等の見直しについて
- 2 西播民間病院協会 検討・報告項目
 - (1) 令和5年度 事業報告について
 - (2) 令和5年度 会計報告について
 - (3) 令和6年度 事業計画 (案) について
 - (4) 平成6年度 西播民間病院協会 定時総会について
日時：令和6年6月13日(木) 18：00～
場所：ホテルモントレ姫路
次第
1. 総会

18：00～18：30
3階「メヌエット」

2. 特別講演

18：30～19：30
3階「ラフェスタ」
演題

「人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者への救急隊基本的活動プロトコルの策定について」

講師

姫路市消防局 救急課 課長補佐
奥見 和昌 様

3. 医療連携交流会

19：30～
14階「シエル」

- (5) 特別講演会・医療連携交流会の会費徴収(案)等について
- (6) 総会・講演会・懇親会の役割担当について

3 その他

- (1) 次回役員会の日程

日時：令和6年5月18日(土) 13：00～
場所：姫路キャッスルホテル
2階松竹の間

※6月は定時総会開催月にて、6月の理事役員会は休会です。

令和6年度 第1回 事務長役員会 議事録

日 時 令和6年4月2日(火)
15：50～16：30

場 所 姫路市医師会館 5F大ホール

役 員 中谷病院 播間利光、入江病院 岡村裕樹、
佐用共立病院 寺本英徳、厚生病院
太田篤志、姫路聖マリア病院 前田文彦、

エ リ ア 情 報

三栄会広畑病院 飛岡秀、姫路愛和病院 安田真一、赤穂記念病院 花房武史、國富胃腸病院 谷田史朗、高岡病院 加地広季

参加者 姫路中央病院 吉田明史、神野病院 富永知加子 12人

司 会 中谷病院 播間利光

書 記 厚生病院 太田篤志

議 題

1 兵庫県民間病院協会 研修会、講演会などの開催予定について

①総会時の特別講演会

期日 令和6年6月20日(木)

会場 ラ・スイート神戸
オーシャンズガーデン

②診療報酬改定に関する研修会

期日 令和6年7月4日(木)

会場 兵庫県医師会館

③第19回研究発表会

期日 令和6年8月24日(土)

会場 兵庫県民会館

④事務長会・看護部長会合同研修会

期日 令和6年10月26日(土)

会場 シーサイドホテル舞子ビラ神戸

2 令和6年度 西播民間病院協会事務長会、役員会・総会・研修会・懇親会の日程等について

開催日：令和6年5月24日(金)

場 所：ホテル日航姫路

時 間：役員会 15：00～15：30

総 会 15：30～16：00

研修会 16：00～17：00

懇親会 17：00～19：00

3 令和6・7年度役員選出について

会則に基づき役員を選出する。三役は輪番制により以下の通り。

A地区	B地区	C地区	D地区
副会長	事務局長	会長	副会長

各地区で役員を選出して、事務局へ5月10日までにメールで報告すること。



協会だより

令和6年5月 16日 理事会
17日 会報編集委員会

[予定]

令和6年6月 18日 会報編集委員会
20日 定時総会・特別講演会



関西学院大学 ビジネススクール 医療経営プログラム 入学生募集



● 病院経営の大学院プログラムにおいて日本トップクラスのクオリティ

病院の医師、事務職、看護職、医療技術職などの経営管理職および候補者を対象に、全ての授業は大阪梅田キャンパスで実施、土日および平日夜間の2年間の通学で経営管理修士(専門職)の学位が取得できます。教員には医療経営分野トップレベルの研究者と先進的実務家が集まり、理論と実践の統合を目指して病院経営のあるべき姿を体系的にレクチャーします。 ※看護・医療技術等の専門学校等卒業者は勤務経験による入学資格審査がございます。審査制度を利用される場合、お早めに研究科事務室にお問い合わせください。

● プログラムの特徴

- ◎ スクールモットー Mastery for Service(奉仕のための練達)の観点から医療経営を探究
- ◎ 理論と実践の統合を目指すカリキュラムにより病院経営のあるべき姿を体系的に修得
- 企業経営と共通の一般論から病院経営特有の理論へ、そして病院経営の実践論へ
- ◎ 医療経営学、医療経済学、医療会計学などトップ研究者と先進的実務家が教員として集結

※2年間最大

112万円給付

本コースは、厚生労働省教育訓練給付制度対象講座として指定されています。

● 2024年度秋学期入学/2025年春学期入学入試日程

募集日程		出願期間	試験内容・試験日	合格発表
2024年秋学期入学(9月入学)		2024/6/5(水)~6/12(水)	6/30(日)面接・筆記試験	7/12(金)
2025年 春学期入学 (4月入学)	第1次	2024/10/30(水)~11/6(水)	11/24(日)面接・筆記試験	12/6(金)
	第2次	2025/1/15(水)~1/22(水)	2/8(土)面接・筆記試験	2/21(金)

● 入試説明会「医療経営プログラム」開催予定

2024年10月20日(日)13:00~ オンラインにて開催予定
詳細や申込方法は9月以降に本研究科ウェブサイトにて公開します。

● 問い合わせ先：関西学院大学 経営戦略研究科事務室

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
TEL.(0798)54-6572 E-mail:iba@kwansei.ac.jp

ウェブサイト：<https://iba.kwansei.ac.jp/>



令和6年度 診療報酬改定研修会のご案内

令和6年度の診療報酬改定が6月1日から施行され、算定基準、施設基準等の詳細が逐次示されていることから、会員病院が提供した医療行為に対し適切な診療報酬が確保できるよう、(株)リンクアップラボ代表取締役 酒井麻由美先生を講師とした診療報酬改定研修会を3団体合同で開催することといたしました。

是非、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

- 1 日 時 令和6年7月4日(木) 14:30～16:30
- 2 会 場 兵庫県医師会館 2階大会議室
(神戸市中央区磯上通6丁目1番11号)
- 3 研 修 会 14:30～16:30 (受付開始14:00～)
テーマ: 令和6年度診療報酬改定の内容と請求上の留意点
講 師: (株)リンクアップラボ代表取締役 酒井 麻由美 先生
- 4 参 加 費 1人につき3,000円 (会場参加のみ。配信はなし)
- 5 申 込 込 み 兵庫県民間病院協会ホームページの参加申し込みフォーム
又は参加申込書 (FAX用) から申し込み下さい。
- 6 申 込 期 限 令和6年6月21日(金)
- 7 振 込 期 限 令和6年6月28日(金)
払込取扱票は、4月会報 (4月25日発送) に同封しております。
- 8 そ の 他 詳しくは兵庫県民間病院協会のホームページをご覧ください。

お知らせ

兵庫県民間病院協会会員名簿（令和5年度版）の訂正・変更について

（訂正）

頁	病院名（※）	箇所	変更前	変更後
40	隈 病 院	理 事 長	くま なつ き(会員) 隈 夏 樹	くま なつ き 隈 夏 樹
		院 長	あか みず たか し(会員) 赤 水 尚 史	あか みず たか し(会員) 赤 水 尚 史
58	伊 川 谷 北 病 院	理 事 長	たか はし よし のり(会員) 高 橋 良 典	たか はし よし のり 高 橋 良 典
		院 長	や ぶき たか ふみ(会員) 矢 葺 貴 文	や ぶき たか ふみ(会員) 矢 葺 貴 文

（変更）

頁	病院名（※）	箇所	変更前	変更後
15	阪 神 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	法 人 名	医 療 法 人 晴 風 園	医 療 法 人 せ い ふ う 会
15	川 西 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院	法 人 名	医 療 法 人 晴 風 園	医 療 法 人 せ い ふ う 会
16	み や そ う 病 院	院 長	みや そう たけ し(会員) 宮 宗 武 史	もり かつ のり(会員) 守 克 則
17	伊 丹 せ い ふ う 病 院	法 人 名	医 療 法 人 晴 風 園	医 療 法 人 せ い ふ う 会
36	昭 生 病 院	理 事 長	わ だ のぼる 和 田 昇	わ だ よし たか(会員) 和 田 義 孝
43	三 菱 神 戸 病 院	院 長	なか むら よし き(会員) 中 村 吉 貴	た しろ みつ お(会員) 田 代 充 生
47	あ り ま こ う げ ん ホ ス ピ タ ル	事 務 次 長	事 務 次 長 星 井 秀 文	事 務 部 人 材 育 成 グ ル ー プ 課 長 竹 本 芳 康
		看 護 部 長 代 理	看 護 部 長 代 理 宇 山 恵 里 子	看 護 副 部 長 石 田 祐 樹

病院名（※）欄は、法人名等を省略して記載しています。

お知らせ

兵庫県民間病院協会会員名簿（令和5年度版）の訂正・変更について

(変更)

頁	病院名(※)	箇所	変更前	変更後
58	伊川谷北病院	院長	やぶき たかふみ 矢 葺 貴 文(会員)	まつばら まさひで 松 原 正 秀(会員)
59	神戸海星病院	経営管理部長	刈田文兵	天瀬さつき
63	あさぎり病院	事務部長		黒肱朋子
75	甲南加古川病院	病院名	公益財団法人 甲南会 甲南加古川病院	医療法人 伯鳳会 はくほう会加古川病院
		E - m a i l	ka_syomu @kohnan.or.jp	kakogawa.soumu @hakuho.or.jp
		ホームページ	https://kohnan.or.jp/ kakogawa/	製作中
		理事長	具 英 成	古 城 資 久
		事務部長	速 水 光	小 寺 理 絵
		職員数	181名 (うち非常勤17名)	184名 (うち非常勤20名)

病院名(※)欄は、法人名等を省略して記載しています。

(一社)兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会

令和6年度 第1回理事会議事録（速報）

I 日 時 令和6年4月18日(木)
15:00～15:45

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第4・5会議室

III 出席者 理事総数14名 出席理事10名
監事総数2名 出席監事1名
理 事：西昂（会長）、吉田寛（副会長）、
鄭正秀（副会長）、橋本創、常岡豊、
大江与喜子、宮地千尋、中井正信、
大石麻利子、公文敦
監 事：大隈健英

なお、吉田寛、橋本創、宮地千尋、大石麻利子、
公文敦はWeb会議システムにより出席した。

IV 会議の成立

理事10名が出席し、定款第34条に規定する
定足数を満たしており、本理事会が成立した
旨確認された。

V 議 長

西昂会長が、定款第33条の規定により議長
となった。

VI 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 講演会及び懇親会の参加費等の見直し について（共通事項）

橋本事務局長から、資料に基づき、諸
物価高騰により協会財政が厳しさを増す
中、講演会、懇親会にかかる経費も増嵩
しているため、講演会及び懇親会参加費、
懇親会招待者の見直し案の説明があつた。
6月開催の総会、特別講演会、懇親
会の参加費は、講演会が会員5,000円、非
会員3,000円、懇親会は会員、非会員とも
に15,000円とし、招待者はなしとするこ
と、また12月開催の年末講演会、懇親会
についても、参加費は6月開催の特別講
演会、懇親会と同額とし、招待者につい
ては、今後検討するとの案が示され、協
議の結果、全員一致をもって可決された。

また、来年度の総会の開催場所、懇親
会の実施の有無等については、アンケ
ートを実施し、その結果も踏まえ今後検
討することとなった。

2 報告事項

(1) 3団体事務の取扱い（覚書締結）と委 託の内訳について（共通事項）

橋本事務局長から、3月理事会の決定
に基づき、同日付で3団体事務の取扱い

に関する覚書を締結したことが報告された。また、整理した委託金額の内訳が説明された。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく終了した。

お知らせ

兵庫県全日本病院協会会員名簿（令和5年度版）の訂正・変更について

(変更)

頁	病 院 名 (※)	箇 所	訂正・変更前	訂正・変更後
4	川西リハビリテーション病院	法 人 名	医療法人 晴風園	医療法人 せいふう会
4	みやそう病院	院 長	宮 宗 武 史(会員)	守 克 則(会員)
12	三菱神戸病院	院 長	中 村 吉 貴(会員)	田 代 充 生(会員)
13	ありまこうげん ホスピタル	事務次長	事務次長 星 井 秀 文	事務部人材育成グループ課長 竹 本 芳 康

病院名(※)欄は、法人名等を省略して記載しています。



公益社団法人 全日本病院協会

2024 年度 第 1 回常任理事会

日 時 2024 年 4 月 20 日(土) 13:00 ~ 16:00

場 所 全日本病院協会 大会議室 1

出席者 定数 26 名、出席 23 名

議 事 要 旨 (抜 粋)

【協議事項】

●2023年度事業報告書（案）及び事業実績説明書（案）について

織田副会長より、事業報告書案（内閣府提出用）及び事業実績説明書案（会員配布用）について説明があり審議した。審議の結果、承認され、次回の理事会へ提出することとした。

なお、事業報告書案については、第1回理事会（2024.5.18）で承認のうえ、第12回定時総会（2024.6.15）にて報告する。

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会 薬価専門部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

（第224回・2024.3.22）

- 市場拡大再算定の類似品の取扱い案が提示され了承された。

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

（第586回・2024.3.22）

- 高額医薬品（感染症治療薬）に対する対応について、「ゾコーバ錠125mg」を検討し、薬価収載時の算定方法に基づき対応することが妥

当であり、現行の薬価と同額とすることが適切と判断した旨が説明され了承された。また、薬価収載後の価格調整の対応案が提示され了承された。

- 市場拡大再算定の類似品の取扱い案が提示され了承された。
- 「プログラム医療機器の評価療養及び選定療養に係る運用について案」が提示され了承された。
- 「希少がん領域における体外診断用医薬品等の診療報酬上の取扱いについて案」が提示され了承された。
- 2022年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果が報告された。

（第587回・2024.4.10）

- 支払側（1号側）の眞田享氏が退任し、後任として奥田好秀氏（日本経済団体連合会社会保障委員会医療・介護改革部会部会長代理）が就任した。
- 2024年4月17日収載予定の新医薬品の保険適用が了承された。
- 2024年4月薬価収載予定の新薬のうち、「ゾキンヴィカプセル50mg及び同カプセル75mg」については、14日ルールの制限を延長するこ

とができるものの条件を満たすことから、例外的に「処方日数の制限はもうけないこと」が提案され了承された。

- レブリキズマブの最適使用推進ガイドラインの改訂、最適使用推進ガイドラインに基づく保険適用上の留意事項通知を発出した旨が報告された。
- 費用対効果評価専門組織から、ケレンディア及びラゲブリオの費用対効果評価結果に基づく価格調整案が提示され了承された。
- DPCにおける高額な新規の医薬品等への対応について、2023年11月24日、12月22日、2024年1月18日及び2月9日に新たに効能又は効果及び用法又は用量が追加された医薬品、2024年2月5日に公知申請が受理された医薬品並びに2024年4月17日に薬価収載を予定している医薬品等については、包括評価の対象外とし、次期診療報酬改定までの間、出来高算定するとの説明があり、提案通り了承された。
- 在宅自己注射指導管理料の対象薬剤として「ヒフデュラ配合皮下注」を追加する旨の説明があり了承された。
- 2024年度改定を踏まえたDPC/PDPSの現況について報告が行われた。

● 社会保障審議会医療部会について

神野副会長より下記の報告がされた。
(第107回・2024.3.21)

- 地域医療構想に関する今後の想定スケジュール案等が示された。
現行の地域医療構想については、引き続き、既存の「地域医療構想及び医師確保計画に関するWG」において進捗状況の評価、更なる取組等の検討を行うこととし、新たな地域医療構想については、2040年頃を視野に入れつつ、病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含めて検討を行う必要があることから、「新たな地域医療構想等に関する検討会（仮称）」を新

設して検討を行うことが提案され、了承された。

- 新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定における医療部分の検討状況が報告された。

● 医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会について

神野副会長より下記の報告がされた。
(第3回・2024.3.27)

- 2026年度の医学部定員の方向性について、前回までの意見を踏まえ、現時点での医学部定員数の急激な変更は行うことなく、まずは、実効性のある医師偏在対策を行いつつ、2024年度の医学部定員数を上限としてはどうかと提案があり、了承された。
- 医学部臨時定員の意向が医学部総定員の上限を超えた場合の対応方法や医師偏在対策に係る論点が提示され、議論した。

● かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会について

織田副会長より下記の報告がされた。
(第4回・2024.4.12)

- これまでの本分科会における意見及びヒアリング等を踏まえ、かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた論点として、①施行に向けて省令やガイドライン等で定める必要がある事項、②かかりつけ医機能が発揮されるための基盤整備、国の支援のあり方など、③医療計画に関する事項が提示され議論した。

● 病院機能評価の審査結果について

美原副会長の代理で猪口常任理事より、下記の報告がされた。

2024年3月8日付で、以下の27会員病院に病院機能評価の新規・更新が決まった。

◎一般病院 1

新規／更新	病院名
新規	戸塚共立第1病院(神奈川県)、 安佐医師会病院(広島県)
更新	平和台病院(千葉県)、 田崎病院(東京都)、 宝塚病院(兵庫県)、 太田川病院(広島県)、 福岡リハビリテーション病院 (福岡県)、 井上病院(長崎県)、 大腸肛門病センター高野病院 (熊本県)

◎一般病院 2

新規／更新	病院名
更新	札幌北楡病院(北海道)、 総合南東北病院(宮城県)、 龍ヶ崎済生会病院(茨城県)、 上尾中央総合病院(埼玉県)、 三郷中央総合病院(埼玉県)、 河北総合病院(東京都)、 河村病院(岐阜県)、 榛原総合病院(静岡県)、 いなべ総合病院(三重県)、 白十字病院(福岡県)、 新古賀病院(福岡県)、 千代田病院(宮崎県)

◎リハビリテーション病院

新規／更新	病院名
更新	東京ちどり病院(東京都)、 福岡みらい病院(福岡県)

◎慢性期病院

新規／更新	病院名
更新	定山溪病院(北海道)

◎精神科病院

新規／更新	病院名
更新	旭川圭泉会病院(北海道)、 平川病院(東京都)、 みなかぜ病院(福岡県)

2024年3月8日現在の認定病院は合計2,035病院。そのうち、本会会員は856病院と、会員病院の33.3%、全認定病院の42.1%を占めている。

●各委員会報告について

- 人間ドック委員会委員長の西常任理事より、人間ドック受診結果データ漏洩について、1年間で2施設から受診結果データの誤送付が生じていることから、人間ドック実施指定施設に対して注意喚起を行うことが報告された。
- 医療安全・医療事故調査等支援担当委員会委員長の今村常任理事より、2024年内に会員病院に向けて、事故調査制度に関する提言、注意喚起等を行うことが報告された。

●厚生労働省、日医、各団体報告について

- 井上常任理事より、一般社団法人日本専門医機構理事会(第22回)の報告が行われた。

【討議事項】

●新たな地域医療構想について

猪口会長より、「新たな地域医療構想等に関する検討会」について下記の報告がされた。

(第1回・2024.3.29)

- 本検討会は現行の地域医療構想が2025年までの取組であることから、新たな地域医療構想について、2040年頃を見据え、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や現役世代の減少に対応できるよう、病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含め、地域の医療提供体制全体の地域医療構想として検討することを目的として設置された。
- 検討事項は、①新たな地域医療構想の策定及

- び施策の実施に必要な事項、②医師偏在対策に関する事項（医師養成過程を通じた対策を除く）、③その他本検討会が必要と認めた事項。
- 座長に遠藤久夫氏（学習院大学経済学部教授）が就任した。
 - 新たな地域医療構想の主な検討事項案として、①2040年頃を見据えた医療提供体制のモデル、②病床の機能分化・連携の更なる推進、③地域における入院・外来・在宅等を含めた医療提供体制の議論が提示された。
 - 新たな地域医療構想に関する検討の一環として、関係団体・有識者ヒアリングを実施することとし、①実施方法、②ヒアリング項目、③対象等が提示され了承された。

（第2回・2024.4.17）

- 新たな地域医療構想について、①香取構成員（一般社団法人未来研究所臥龍・代表理事）、②江澤構成員（公益社団法人日本医師会・常任理事）、③相澤参考人（一般社団法人日本病院会・会長）、④猪口構成員（全日本病院協会・会長）、⑤松田構成員（産業医科大学・教授）からヒアリングが行われた。
- 猪口会長は、当協会「地域医療構想に関する提言」を紹介し、①高齢化がもたらす影響は地域により異なる、②使用する統計データの実施年の統一が必要、③基準病床数と必要病床数の統合、二次医療圏の範囲の弾力的な運用、④病床機能の「回復期」は曖昧な定義で混乱を招き、「病院機能」による分類が現実的、

⑤高齢者救急は二次救急医療機関、かかりつけ医機能支援病院で対応、⑥医療・介護システムの抜本的な見直し（医療DXの推進、医療・介護の効率的運用、施設基準の見直し等）について説明したことが報告された。

上記説明後の討議では以下のような意見、要望が出された。

- 東京都では3次救急医療機関が患者獲得のために本来対応不要である2次救急まで対応しており、医療資源の配分が非効率な現状がある。今後ますます医療人材が不足していく中で、2040年を見据えてデータに基づいた効率化するためのシステムを見直す必要がある。
- 85歳以上の高齢者救急が増えていく中で、全国で300以上ある救命救急センターは集約化し、2次救急医療機関を地域に分散化して、地域の実情に応じてかかりつけ医支援機能を兼ねるのが理想的である。
- 働き方改革などでタスクシフトが言われているが、地方ではシフトする人材が確保できない。少ない人員でどう取り組むかという構想を構築するとともに、診療報酬を簡素化して人が少なくても業務が回るようにしないといけない。
- 医療DXを進めるのであれば、施設基準の見直し、診療報酬の簡素化など、DXのメリットを感じることができる施策を進めることが先なのではないか。



金額単位：円

4 月 度 事 業 報 告	種 目	件 数	取扱高	前年同月比	種 目	件 数	取扱高	前年同月比
	1. 融 資	0 病院			6. 牛 乳	1 病院	28,190	119
	2. 寝 具	26 病院	6,629,535	271,136	7. 防 虫	0 病院	0	0
	3. 白 衣	22 病院	9,057,905	215,707	8. 保 険 (手数料収入)		10,290	1
	4. 患 者 衣	9 病院	708,003	△ 18,533	9. 飲 料 (手数料収入)		4,678	△ 5,992
	5. パ ン	0 病院	0	0	10. そ の 他 (手数料収入)		0	△ 5,383

4月理事会について

日 時 令和6年4月18日(木)
14:30～15:00

場 所 兵庫県医師会館 6階 第1会議室

役員総数 理事8名、監事2名

出席理事 8名（うち本人出席4名）
（うち議決権行使書出席4名）

出席監事 1名

議 題

1 報告事項

- (1) 3月度事業及び収支について
・事務局長より資料に基づき報告、了承された。

2 協議事項

- (1) 令和5年度決算について
・事業概況、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案について監査後の決算書で報告し、詳細を説明した。組合員へは8%の配当実施を行うこと、組合事業の安定運営のため積立金を積み増しすることで了承された。
- (2) 第62回通常総会議案と議事進行について
・総会議案に基づき、議案内容を説明し

承された。

- ・総会次第及び議事運営シナリオに基づき役割分担を確認した。

3 その他事項

- (1) 家庭常備薬等の斡旋実施予定について

①組合員向け家庭常備薬等

申込書類等送付：5月13日(月)

申 込 締 切：6月4日(火)

②非組合員向け家庭常備薬等

申込書類等送付：5月23日(木)

申 込 締 切：6月12日(水)

パウダー状食材の案内については、安全性を確認した上で取り扱う事です承された。

- (2) 次回役員会等の開催日時について

・通常総会

令和6年5月16日(木) 14:00～14:20

医師会館6階 第4会議室

・定例役員会

令和6年7月17日(木) 14:30～15:00

医師会館6階 第1会議室

6月の役員会は、同日民間病院協会総会開催の為休会とする旨説明し了承された。

兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2024年4月～2024年4月)

収益率計算方法 : 修正ダイナミック
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	資産全体												金額単位 : 円													
	国内債券			国内株式			外国債券			外国株式				キャッシュ等			その他			資産全体						
	時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額		時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額	時間加重	金額加重	時価総額	修正総利回り
ベンチマーク	-1.13%	-	-	-0.91%	-	-	1.65%	-	-	0.24%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.00%	-	-	-	-	-	-
総合計	-1.12%	4,724,406,319	52.26%	-0.93%	905,558,313	10.02%	1.66%	844,828,257	9.35%	0.17%	911,672,487	333,612,750	14.60%	0.14%	1,319,348,926	9,039,427,052	100.00%	-0.49%	-	-	-	-0.49%	-	-	-0.49%	
みずほ信託銀行合計	-1.14%	-	-	-0.95%	-	-	1.68%	-	-	0.16%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.15%	-	-	-	-	-	-	-	-0.45%
みずほ信託銀行パ ランス	-1.14%	3,034,013,317	47.71%	-0.95%	607,919,725	9.56%	1.68%	572,126,940	9.00%	0.16%	614,626,083	273,635,120	19.76%	-	1,256,304,638	6,358,625,823	100.00%	-0.59%	-	-	-	-	-	-	-	-0.59%
みずほ債券SA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	-	0.00%	-	5,102,312,168	100.00%	-0.20%	-	-	-	-	-	-	-	-0.20%
みずほアラロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	-	0.00%	-	639,495,855	100.00%	0.52%	-	-	-	-	-	-	-	0.52%
三井住友信託銀行パ ランス	-1.14%	753,223,125	59.26%	-0.77%	157,817,732	12.42%	1.64%	140,857,605	11.08%	0.24%	156,125,052	0	4.96%	0.00%	63,044,288	1,271,067,802	100.00%	-0.57%	-	-	-	-	-	-	-0.57%	
三菱UFJ信託銀行 パランス	-1.14%	703,560,897	59.88%	-1.00%	139,820,856	11.90%	1.62%	131,843,712	11.22%	0.15%	140,921,352	58,809,494	4.96%	0.01%	1,174,956,311	100.00%	-0.60%	-	-	-	-	-	-	-	-0.60%	
りそなマルチ	-0.73%	233,608,980	99.50%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	-	0.00%	-	234,777,116	100.00%	-0.73%	-	-	-	-	-	-	-	-0.73%
												0.50%	-	-	-	100.00%	2.60%									2.60%

注) 「ファンド名」- 「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表（2024年4月～2024年4月）

収益率計算方法

： 修正デイトツ法

金額単位：円

ファンド名	速確区分	2024年3月末 時価総額	2024年4月末 時価総額	増減額			時間加重 収益率	複合ベンチ マーク騰落率
				掛金等	給付等	収益		
総合計	確	9,100,517,344	9,039,427,052	-61,090,292	39,378,080	55,893,130	-0.49%	-
みずほ信託合計	確	6,403,600,552	6,358,625,823	-44,974,729	39,378,080	55,893,130	-0.45%	-
みずほ信託バランス	確	5,149,179,301	5,102,312,168	-46,867,133	39,378,080	55,893,130	-0.59%	-
みずほ債券S.A	確	640,783,901	639,495,855	-1,288,046	0	0	-0.20%	-
みずほアラロン	確	613,637,350	616,817,800	3,180,450	0	0	0.52%	-
三井住友信託バランス	確	1,278,330,889	1,271,067,802	-7,263,087	0	0	-0.57%	-
三菱UFJ信託バランス	確	1,182,082,187	1,174,956,311	-7,125,876	0	0	-0.60%	-
りそなマルチ	確	236,503,716	234,777,116	-1,726,600	0	0	-0.73%	-

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		日興CB		TOPIX		配当込み		FTSE世界国債		MSCI-KOKUSAI		コール有担保		日経平均(円)		10年国債		為替(円/ドル)		米国NYダウ(ドル)		米10年国債		為替(円/ユーロ)	
	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末	2024年3月末	2024年4月末
2024年3月末	366.497	-	4,699.20	587.98	8,067.185	-	40,369.44	0.725	151.345	39,807.37	4.20	163.453														
2024年4月末	362.353	-	4,656.27	597.68	8,086.777	-	38,405.66	0.870	157.365	37,815.92	4.69	168.263														
年度末比上昇率幅	-1.13%	-	-0.91%	1.65%	0.24%	-	-4.86%	-	3.98%	-5.00%	-	2.94%														

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <http://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp>

ISR

Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026
神戸市中央区古湊通1丁目2番
(ISRビル)

(業務案内)
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ISR 梨本

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社
ISR パーソネル

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社
アイ・エス・アール

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも
できます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化
(冊子・図面など)



情報をデザインする会社

株式会社 七旺社

URL : <https://www.shichiou.co.jp>

TEL : 078-575-5212

FAX : 078-577-8366

e-mail : info@shichiou.co.jp

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当：水原まで

医療・福祉のスマート経営に、
アプリケーションは自由自在。



多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの[包括委託サービス] (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする[セイモアシステム]は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株) フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株) メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 縮久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキュー セイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所 / 〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業務案内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ワタキューセイモア(株)
	牛乳	○(株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○(株)チェリオ Co.、アサヒカルピスビバレッジサービス(株) 関西コーヒー(株)、(株)アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス(株)
	保険代理店	○損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス・(株)A・I・P) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火 災保険等の取扱い ○アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品(がん保険)の取扱い
	自動車リース	○(株)イチネン
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○(株)諒和(旧 大日商事(株)) 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一 助として、年2回幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○(株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
引越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○(株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL 0120-56-1141)で申込みと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、オゾン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の
病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、
実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介し、ご提案などをさせていただきます。
お気軽にお問合せ下さい。

加入病院 123病院
 主な取引銀行 商工中金、みなど、日新信金他
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会 西病院理事長)
 専務理事 鄭 正 秀 (神戸博愛病院院長)
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会 大村病院理事長)
 事務局長 谷 水 直 人

- ・協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴するこ
とはありません。
- ・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525
 FAX (078) 230 - 2526



(一社)兵庫県民間病院協会会報
令和6年5月25日発行・通巻639号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 西 昂
〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F
TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp
URL <https://www.hgminkanhp.com>
編集者 東 靖人、榊 政重、崎尾正浩、原 正也、山田泰嗣、前田文彦

印刷 (株)七旺社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)